

### 盗難事件発生

11月25日に出船前点検をされていた保管艇ご利用者から「盗難に遭ったようだ・・・」というお申し出がありました。

艇を拝見しましたがキャビン収納庫からルアーとベンチ、ナイフが無くなっているとのことでした。

また庫内に物色された痕があり、純正オイルフィルターの入った箱が開けられていましたが、フィルターはそのままありました。他に釣竿やリール等が複数ありましたが無事でした。また、その他の収納庫や機関室やに異常はないとのことでした。キャビン収納庫はダイヤル錠で施錠されていましたが、錠自体が無くなっていたため、解錠されたのか壊されたのかは不明です。この艇は同月19日に使用されており、盗難は1週間



開けられやすいダイヤル錠

の間に起きたこととなります。この日は取り急ぎ他のダイヤル錠で再度施錠され、翌日26日と27日に施設職員によって施錠が確認されています。そして12月1日、出船しようとしてご来場された同ご利用者から「またやられた!」と・・・艇を見ると、また施錠されていたはずのキャビン収納庫が開けられ、錠は消えていました。そして今度は電動リールが無くなっていました。リールはダイワのシーボグ200というかなり高価な商品、「さすがに今回は痛い」ということで、警察に通報されました。同じ庫内にあったシーボグの箱も無くなっていましたので、盗品販売が目的かも知れませんね。ほどなく横須賀署の鑑識の方による検分が行われ、指紋などが採取されました。指紋は多数あり犯行に結びつけることが難しいそうですが、キャビン収納庫の外壁面から靴痕が見つかりました。ここは通常足をのせる場所ではなく、おそらく解錠するときに踏ん張ったのかと思わせる靴痕でした。「運動靴っぽいね」と鑑識の方。けっこうははっきりと残っており、解決に結び付けば良いのですが。この記事を書いている現在まで、他のご利用者から被害のお申し出はありませんが、まだそれぞれのご利用者が確認されていないだけで実情はわかりません。



時間外は立入禁止です

ご利用者の皆様におかれましては、お手数ですが一度ご来場され、ご自艇の状況を確認されるようお願い致します。それにしても度重なる盗難事案に、被害を受けたご利用者にはお見舞い申し上げます。また盗られても盗られなくても、他人に大切な艇に侵入され物色されるのは嫌なものです。船舶保管施設は時間外は施錠されており、漁港門も施錠され立入禁止となって

います。ただ車両こそ入れないものの、徒歩で侵入することは可能です。施設フェンスを乗り越えられ保管艇が物色されている可能性も十分に考えられます。船の収納庫などはおおよそFRP製かプラスチック製ですので、施錠してあったとしてもパールなどでこじ開けられればひとたまりもありません。ダイヤル錠もその道のプロならば、おそらく解錠することは容易でしょう。5～6年前にデッキ上のクーラーボックスやソーラーパネル、燃料などが紛失する事案はありましたが、ここ数年は盗難による被害は報告されていませんでした。



夜間の港内は無人となります

ただ以前から、横須賀市の担当者と防犯カメラ等の設置など、セキュリティ面での向上を相談しておりましたが、費用等の問題からなかなか実現にこぎつけません。またカメラがあったとしても完全ではなく、盗難に遭う可能性は拭えません。



オートパイロットはお持帰りを

一番の対策は、艇に置かないことです。面倒でも釣竿とリール、魚探など大切なもの、盗られたら困るものはお持ち帰り頂くしかありません。台風の接近時も含めて、ご自艇の管理はご利用者が行って下さい。最近は船首にオートパイロットを装着されている艇が増えましたが、これもお持ち帰り頂く方が良いでしょう。中には南京錠をかけている方もいらっしゃいますが、窃盗を目的とする者は少なからず切断できる工具等を持ち込んでいるでしょう。逆に南京錠をかけたのはいいけれど塩噛みして固着し解錠できずに困ったという例も



南京錠は給脂が必要

あります。これから寒さがピークをむかえますが、アマダイやアカムツ、オニカサゴ、ヒラメ、ハタなど美味魚釣りもピークをむかえます。事故やトラブルなく気持ちのよいボートライフを楽しむために、艇の管理もよろしく申し上げます。